



七中だより

第6号

令和4年10月14日(金)

校長 勝野 能光

人として...morality と humanity

副校長 廣瀬 尊貴

ある朝、歌舞伎の尾上菊五郎氏の演目『南総里見八犬伝「犬山道節忠与（いぬやまどうせつただとも）」』の記事が目にとまりました。南総里見八犬伝は江戸時代後期に曲亭馬琴によって書かれました。犬の字を名にもち、仁・義・礼・智・忠・信・孝・悌の文字の珠玉をもった八犬士が里見家の危機に集まり、宿敵扇谷氏を討ち倒す長編小説です。八つの珠玉の文字は以下の意味を表します。

【仁】 他人に対する優しさ	【義】 正しい行為を守る心	【礼】 社会的行為を守る心
【智】 物事を理解する能力	【忠】 正直で裏表のないこと、主君に尽くすこと	
【信】 偽りのないこと	【孝】 親によく孝行すること	【悌】 年少者が年長者に従順なこと

文学は世相を反映します。八犬伝が書かれた当時は化政文化と呼ばれる町民文化が栄え、文学や美術等の優れた芸術が生まれました。一方で、儉約を強いた寛政の改革の反動で、道徳的価値観が廃れ、退廃的な思想も生み出しました。馬琴は世を憂い、正しく生きる大切さを説いたのでしょう。



さて、現代はというと、大型自動車メーカーによるエンジン性能データの虚偽申告、大手寿司チェーン店会社によるライバル会社のデータ不正取得問題等、欺瞞と粉飾が蔓延っている状況です。前述の事件は、いずれも組織ぐるみの不祥事です。道徳性(morality)と人間性(humanity)が、著しく低下していると言わざるを得ません。生徒たちに、人として正しく生きることを学ばせ、公正な社会の担い手として育てていくために、次の取り組みが必要ではないかと考えます。

◆「読書に慣れ親しませること」本には多くの先人の知恵や教えが記されています。長い歴史を経て伝えられてきた先哲の教えには、人としていかに生きるかという指針が示されています。読書をするにより生き方を学び、正しく生きる知性・道徳性が養われます。また、すぐれた文芸作品では、様々な感動を味わうことができます。情緒豊かな文章描写は、生徒の情操心を育み、豊かな人間性の涵養へつながります。カズオ・イシグロの「クララとお日さま」は、ぜひ、読んでもらいたい一冊です。

◆「ボランティア活動に参加すること」ボランティア活動を通して奉仕の精神を学びます。奉仕の精神とは人の役に立ち、社会の役に立ちたいと思う心です。見知らぬ人との奉仕活動により、社会のルールやマナーが身に付き、社会の一員として貢献しようという意欲につながります。また、「ありがとう」と感謝された喜びは、自己有用感となって豊かな人間性を形成していくはずで



八犬伝の結末は意外と知られていません。「人として生きなさい。この国は仁義が衰え、乱れている」と言い残し八犬士は消え去っていきます。たとえ時代が変わろうとも、morality と humanity は人として生きる不変の真理です。身に付けさせていきます。生徒の将来、公正なる未来のために。

第39回音楽祭に向けて

祭の成功に向けて、士気を高めるために音楽祭実行委員長の呼びかけの言葉とスローガンの発表がありました。今年度の音楽祭は保護者の皆様の入場者数に制限はありません。生徒たちの素晴らしい歌声をご期待ください。

10月20日（木）武蔵野市民文化会館で「第39回音楽祭」を開催します。全校朝会で音楽祭



3年A組 渡邊 涼々音

全校生徒の皆さん、おはようございます。

今年度の音楽祭実行委員長を務めます、3年A組渡邊涼々音です。私たち3年生にとっては、音楽祭は2度目になります。昨年の音楽祭は、当時2年生だった私にとってすごく刺激的で輝いてみえました。それは、全校が一体となって、ひとつの行事に本気になって挑んでいたからです。その空気が、思いが、とても印象に残っています。

さて、今年度はどうなるでしょうか。これまで、そしてこれから、クラスのみならずどのように切磋琢磨していくのか。当日は、いかに個性豊かで彩りにあふれる舞台となるのか。昨年よりグレードアップした音楽祭になることを楽しみにしています。私たち実行委員は、皆さんが全力で取り組めるように尽力していきます。全校生徒みんなで史上最高の音楽祭をつくりあげるために、残された時間も頑張っていきましょう。それでは、スローガンの発表です！



3年B組 佐々木 せな

今年度の音楽祭のスローガンは、「彩」（あざやか）です。「彩り」と書いて、これを「あざやか」と読みます。

このスローガンに、『音楽には様々な表現ができ、言葉に表すことのできない感情豊かな思いを音楽にのせて、彩り豊かな音楽祭にしよう』という思いを込めました。彩り鮮やかな七中の音楽祭を作り上げていきましょう。

第4回おおさわ学園研究会

羽沢小、第七中の3つのグループに分かれて「大沢の里古民家」「出山横穴墓」「大沢の里水車経営農家」を見学しました。



第2部は本校体育館で理科分科会と道徳分科会より地域の教育力を生かした実践発表を行いました。

9月21日（水）第4回おおさわ学園研究会を実施しました。学園の研究テーマ「地域人財・施設の発掘と活用」を踏まえて、第1部は、大沢台小、



敬老の集いボランティア

9月17日（土）・18日（日）の両日三鷹市公会堂光のホールで「敬老の集い」が開催されました。本校からは13名の生徒が18日（日）にボランティアとして参加しました。当日は台風の影響であいにくの天気でしたが、多くの高齢者の方が出席しました。生徒たちは出席する方々に胸章を付けてあげたり、会場までの案内をしたりしました。また、濡れた路面で転倒しないよう、雑巾やモップで水を拭く作業もしました。おかげさまで1人の転倒者もなく開演することができたと、多くの皆様から感謝の言葉をいただきました。



「防災に備える」授業

10月2日（日）三鷹市総合防災訓練（大沢地区）が実施されるに備えて、1、2年生を対象に防災に関する授業を実施しました。講師には三鷹市総務部防災課、三鷹消防署、三鷹市赤十字奉仕団、みたかSCサポートネットの方々をお招きし、三角巾包帯法、AEDの使い方、簡易トイレの組み立て等を学習しました。これまで経験したことのない災害が頻発しています。この日の学習は非常時の際に貴重な経験となることでしょう。



ほたるの里 ちびっこ農業体験「稲刈り」

9月25日（日）ほたるの里・三鷹村「水田・隣接広場」でちびっこ農業体験「稲刈り」が開催されました。本校からも多くの生徒が参加しました。地域の方々との稲刈りを通じた交流により、故郷を愛する心が一層芽生えたことと思います。



空手道学校訪問プロジェクト

三鷹市では現在、部活動の地域移行事業を進めており、その一環として空手道を実施しています。本校では9月29日(木)「空手道学校訪問プロジェクト」として全日本空手道連盟や東京都空手道連盟、日本体育大学の空手道部の皆様等を講師にお招きし、空手の授業を行っていただきました。空手の歴史や特性について学び、型の演武を鑑賞した後、空手の礼法、立ち方、突き・受けの体験学習をしました。



《11月の主な行事予定》

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 11/ 1(火) | ⑤⇔⑥ |
| 4(金) | 進路面談(3年)終 |
| 7(月) | 安全指導 |
| 9(水) | 学園研④カット |
| 11(金) | ①英検 IBA(1年) |
| 14(月) | 第3回定期考査
(国・理・保体・音 給食なし) |
| 15(火) | 第3回定期考査
(社・数・英 給食なし) |
| 16(水) | 領域診断テスト(3年)
PTA 一日家庭教育学級 |
| 17(木) | ⑥英検 IBA(2・3年)
CS委員会 |
| 18(金) | 企業訪問(1年) |
| 21(月) | 避難訓練 |
| 22(火) | 専門委員会 |
| 24(木) | 中央委員会 |
| 27(日) | スピーキングテスト(3年) |
| 28(月) | 新入生保護者説明会 |



※新型コロナウイルスの感染状況によっては変更になるかもしれません。

三鷹市総合防災訓練(大沢地区)



10月2日(日)本校で「令和4年度三鷹市総合防災訓練(大沢地区)」が実施されました。

1、2年生は防災授業で学んだことを参加者の方々に実演しました。速やかな作業と丁寧な説明に多くの方が感心していました。

